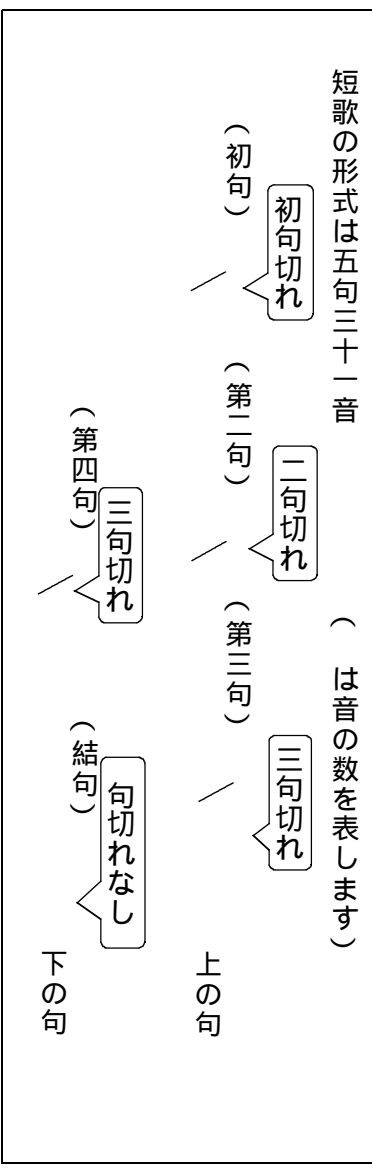


6
読 む
短歌を味わう
〔知識・技能〕
名 前
解 答



やってみよう

〔解答と解説〕

一 二句切れ

・句切れとは、意味やリズムの上から短歌の流れが切れることです。この短歌には「や」という切れ字があります。ここが、句切れになる場所です。

・短歌の句と句のつながり方、切れ方や意味のまとまりに注意しましょう。

・句切れを見付けるときには、「言い切りの形になっているところ」「や」「切れ字があるところ」に注目しましょう。

切れ字とは…

・句が切れることを表す語のこと。強調し、感動を深める働きがあります。

《主な切れ字》ぞ・かな・や・けり・ず・ぬ・らむ

二 字余り

・短歌の形式は五七五七七の三十一音です。それに対し、Bの短歌は三十四音です。このようなものを字余りといいます。また、基本の音数より少ないものを字足らずといいます。

三 C ア

D ウ

知っておきたい表現技法

- ・体言止め 結句の最後を体言(名詞)で止め、余韻を残すこと。
- ・比喻法 ものごとをほかのものごとにとえること。
- ・倒置法 主語・述語などの語順を、普通と入れかえること。
- ・反復法 同じ言葉、または多少変化させた言い方を繰り返すこと。

四 ア

・Eの短歌は、「緑の若草の上に、赤鉛筆の粉が散っていくのがいとしく思われるので、草の上に寝転びながら鉛筆を削るのだ。」という意味。

五 ウ

・Fの短歌は、病床にある作者が、机の上にある藤の花が生き生きと咲いているのを見て感じたことを詠んだ歌です。

《参考にしよ》

学習プリント基礎・基本編

「読むこと」4「表現の工夫をとらえる」